県央かわら版

第９号
平成25年6月4日発行
発行者
一般社団法人県央研究所

甘味料でアレルギー症状報告

加工食品などに使われている甘味料が原因とみられる食物アレルギーの患者が30人余り報告されていることが、専門の医師らの初めての全国調査で分かりました。医師は、甘味料がアレルギーの原因になることはあまり知られていないとして注意を呼びかけています。

調査したのは、国立病院機構相模原病院の医師や栄養士などのグループで、去年10月、食物アレルギーの患者を診療している全国の医師などに依頼し、およそ880人から回答を得ました。

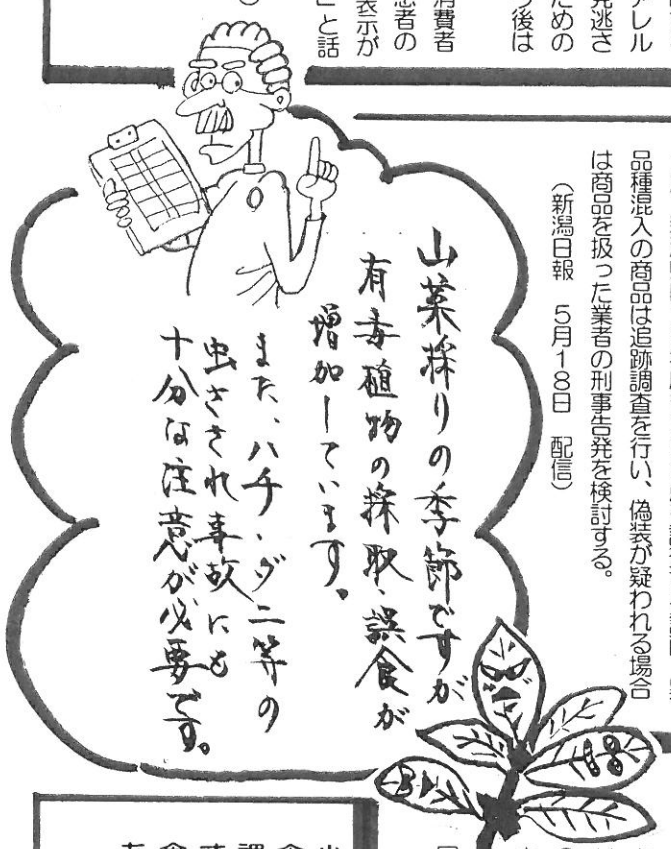
それによりますと、食事の後にアレルギーの症状が出て、医療機関を受診した人で、甘味料による食物アレルギーと診断された人が15人、疑いがあるとされた人が18人いたことが分かりました。中には呼吸困難などの重い症状が出た人もいるということです。

甘味料別では「エリスルトール」が15人、「キシリトール」が10人、「ステビア」が2人などとなっています。

甘味料はアレルギー物質としての表示義務はなく、含まれる量が少ない場合、原材料としての表示を省略することもできます。調査を行った医師は「甘味料がアレルギーの原因になることはあまり知られておらず、見逃されているケースも多いとみられる。ダイエットのための低カロリー食品が増えているので注意が必要で、今後は表示についても検討すべきだ」と話しています。

この調査結果は消費者庁にも報告されていて、消費者庁の担当者は「内容を詳しく精査するとともに、患者の数などを見ながら、今後アレルギー物質としての表示が必要かどうかについても検討していくことになる」と話しています。

（NHK NEWS WEB 5月10日配信）



新潟県産コシヒカリ 6点で異品種混入 県がDNA検査

新潟県は5月17日、新潟県産コシヒカリの流通実態を把握するため実施したDNA検査の結果、サンプル61点のうち6点で異品種が混入していたと発表した。混入割合は最大で15%だった。

調査は2012年度の4回目。13年1～3月に首都圏や関西圏の小売店とインターネットで新潟県産コシヒカリと表示して販売しているコメを購入し、1点当たり20粒を抽出して調べた。

6点の内訳は混入割合15%が1点、10%が1点、5%が4点だった。61点のうち、県内で生産されるコシヒカリBLだけの商品は39点だった。新潟県は今回を含めた12年度全体の調査結果もまとめた。調査した250点のうち7・6%に当たる19点で異品種が混入。混入割合は最大30%だった。19点の販売地域別では首都圏が9点、関西圏が9点、インターネットが1点だった。新潟県は13年度も250点を調査する計画。異品種混入の商品は追跡調査を行い、偽装が疑われる場合は商品を扱った業者の刑事告発を検討する。

（新潟日報 5月18日 配信）

中学給食に異物混入か、大和市／学校給協同調理場 ハンバーグ1916食分を給食前に回収

神奈川県大和市は5月8日、南部学校給食共同調理場で調理されたハンバーグにステンレス製のリベットが混入した可能性があるとして、調理場から配送している全4中学校でハンバーグ（1916食分）の提供を中止させた。

市教委保健給食課によると、調理後にオーブンを洗浄した際、扉の耐熱ガラスを固定するリベット1個が取れているのに気付いた。市教委を通じて4校に連絡したが、いずれも給食前だった。

調理場に戻されたハンバーグを調べたが見つかっていないという。

（神奈川新聞5月8日配信より）

有毒植物による食中毒に注意を！ 山菜等の誤食事故

シドケと誤ってトリカブト（山形）

山形県は21日、鶴岡市の60代女性が毒草のトリカブトを食用のモミジガサ（シドケ）と誤って食べ、食中毒になったと発表した。女性は快方に向かっている。

山形県食品安全衛生課によると、女性の家族が鶴岡市内の山でシドケと誤ってトリカブトを採取。女性が20日午後6時頃、おひたしにして食べたところ唇と手のしびれ、吐き気などの症状が出たため同市内の医療機関を受診、そのまま入院した。医療機関からの連絡を受けた庄内保健所が調査し、トリカブトによる食中毒と断定した。山形県衛生研究所のまとめによると、山形県内でトリカブトによる食中毒は1990年以降11件発生。02年4月には尾花沢市の20代男性が食用のニリンソウと誤食し、死亡している。

トリカブトはシドケ、ニリンソウと形状が似ており、同じ場所に群生していることがあるという。

（山形新聞 5月22日配信）

少しでも怪しいと思う山菜は絶対に採らない、食べない、人にあげない！
調理前に知らない植物が混じっていないか確認する。!!
食用植物と有毒植物は同じ場所に生えることがあるので、採る際は1本1本よく確認。!!!

新潟でも・・・ ウルイ（オオバギボウシ）と誤って ザゼンソウを誤食する事故・・・

新潟県で誤食の多い有毒植物は
イヌサフラン → 行者ニンニク
バイケイソウ・コバイケイソウ → ウルイ
スイセン → ニラ
トリカブト → ニリンソウ
などがあります。（新潟県福祉保健部生活衛生課）

有毒植物を誤って食べると
胃腸炎症状やけいれんなどを起こし、
時として死亡することもあり注意が必要です

E-Mail: info@kenoh-labo.or.jp

皆さまからの情報・ご意見をお持ちしております

県央かわら版では食品・環境等を中心に情報を発信しております。取り上げていただきたいものや、旬な話題等がありましたお気軽にご連絡ください。

一般社団法人県央研究所 県央かわら版事務局
電 話（〇二五六）四六 八三一
FAX（〇二五六）四六 八三一〇